

## 3Rの提言内容の検討について（案）

現在、市で推進している3R事業は、資源プラスチック（プラスチック製容器包装）や古紙類、ペットボトル等の回収したものをリサイクルすることが主体に行なわれており、リサイクルされている事はある程度住民の皆さんには周知されていると考える。

しかしながら、未だにリサイクル＝ごみではないとの認識が住民の皆さんがされていることは否めない。そんな状況を加味しながら、委員会としては3Rについてポイントを絞り、施策を提案する事が必要と考えます。

## 1 リデュース（Reduce 発生抑制）について

## (1) レジ袋の削減

ア 現在、長野県が主体になり「レジ袋削減県民スクラム運動」を実施して、毎月5日を統一行動日として地方事務所単位で店頭での啓発活動を実施している。県内にもレジ袋削減のための協議会等の立ち上げをしている地域もあるので、上伊那郡も圏域内でのレジ袋削減のための協議会等の立ち上げについて働きかけする。

## (2) マイ箸等の持参

ア 割り箸の使用は、原料の木材についての論議は色々な諸説はあるものの、使用された割り箸については、ごみとして排出されると考えられる。また、紙コップやキッチンペーパー等も同様にごみとして排出されていると考えられる。それらをマイ箸、マイカップ、マイボトル、マイぞうきんの使用によるごみの排出抑制の推進をすることが必要と考える。

## 2 リユース（Reuse 再利用）について

## (1) フリーマーケット

ア 現在、毎年10月に行なわれている「生活展」において、フリーマーケットを行なっている。今後も再利用の面から継続して実施していくことが必要と考える。

## 3 リサイクル（Recycle 再生利用）について

## (1) 布類のリサイクル

ア 現在、布類については、可燃ごみの組成調査から推測すると、年間200t以上排出されていると考える。子供服等は「お下がり」制度等を活用することにより、再利用は可能であると考えますが、使用に耐えられない物はごみとして排出される。紙ごみについて検討した内容と併せて、布類のリサイクルを研究し、実施する必要があると考える。